

危機管理論 I

科目ナンバリング SSE-101
選択 2単位

宮田 智之

1. 授業の概要(ねらい)

本授業では、危機管理論としてアメリカの外交安全保障政策について学びます。

世界のリーダー国であるアメリカは、長年にわたりさまざまな安全保障上の問題に対応し、国際社会に多大な影響を及ぼしてきました。無論、すべての問題において効果的に対応してきたとは言い難く、イラク戦争のように開戦理由や戦後統治をめぐるアメリカ国内だけでなく世界中からも激しく非難されたケースもあります。また、シリア内戦などへの対応をめぐるのは、アメリカのリーダーシップの乏しさが批判されました。

そこで、本授業ではG.W.ブッシュ政権以降の中東情勢に主に焦点をあて、それぞれの事例においていかにアメリカ政府が対応したかを分析したいと思います。

2. 授業の到達目標

- ①「危機管理」というテーマを通じて政治や社会の動きについて関心をもつことができるようになります。
- ②国際情勢をはじめとする時事問題への理解が深まります。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験と平常点に基づき評価します。それぞれの割合は、期末試験:80%、平常点:20%です。授業態度が悪い場合は欠席扱いとすることもありますので注意してください。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

定期的に配布するプリントを利用して予習と復習をしっかりと行って下さい。

6. その他履修上の注意事項

- ①質問は大歓迎です。疑問点、わからない点などがあれば授業後に聞いてください。
- ②授業の進行の妨げとなりますので、授業中の私語や途中退席等は謹んで下さい。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 冷戦後のアメリカと国際社会
- 【第3回】 ブッシュ外交の特徴
- 【第4回】 2001年米同時多発テロ
- 【第5回】 アフガニスタン戦争
- 【第6回】 イラク戦争に至る背景
- 【第7回】 泥沼化するイラク情勢
- 【第8回】 オバマ外交の特徴
- 【第9回】 アラブの春①:チュニジア、エジプト
- 【第10回】 アラブの春②:リビア
- 【第11回】 アラブの春③:シリア
- 【第12回】 ISの台頭
- 【第13回】 トランプ外交の特徴
- 【第14回】 「退却」するアメリカ
- 【第15回】 まとめ